

園長のちよとよい話

バタフライクラス

“お昼寝の前に” 読・み・聞・か・せ



今バタフライクラスのお昼寝の前に「読み聞かせ」をしています。初めての日、子どもたちはみんな、お布団の上に正座をして 私を迎えてくれました。「寝たい人は眠って

もいいよ」「寝転がって話を聞いてもいいよ」という私の言葉に戸惑っている様子がありました。それは いつも人の話を聞くときは 話す人の方を見るのだよ」と言われているのだ



園長 石井 篤子

から 無理ありませんね。みんなにはそういうことがちゃんと身についているんです。でも この時間は本当に大丈夫なんだとわかる。座ったままの子、リラックスして横になる子と様々です。時と場合によっていろいろな感じ方がある。覚えてくれたらうれしいな。いよいよお話の始まりです。



初めのうちは「絵を見せて」という子供たちの声が聞こえてきました。今は映像を見ているのが当たり前ですから お話を聞くだけというのは なにか物足りなさを感じるのでしょうか。それでも私が構わず読み進め、時々「この鬼さんはどんなことを考えていたのかな？」など 子どもたちがお話を聞いて

なことを感じているのかな？と知りたくて 質問をします。初めは なかなか考えていることが聞かえませんでした。今は、自分なりに感じたことを 言葉で表現してくれるようになってきました。

私も子どもの頃 母親が 毎晩読み聞かせをしてくれました。もちろん絵は見ません。でも母親の話を聞いて 時には涙を流したり お腹を抱えて笑ったり 今でもそのお話はよく覚えています。遠い昔のことですが.....

私も子どもの頃

今 私の机の下は 子どもたちに読んであげたい絵本でいっぱいです。子どもたちから 今日お話ある？と聞かれることが増えてきました。楽しみにしてくれているんだったらうれしいなあ。ちなみに すくすくの子どものちは 楽しいお話が好きだよつです。



ギョウジャバラクラス

もぐもぐ

かみかみ

毎日のランチで つい最近まで悪戦苦闘をしていた子どもたち。先生たちが「もぐもぐ」とか「かみかみ」とかいつも言っけど どうやればいいのか？



がんばって食べるようになります。食事は頭・体・心の成長にとって とても大切ですからね。ランチやおやつを作ってくれる栄養士、

調理師の先生方と保育士がいつも みんなが健康で大きくなるようにと 一人一人の個性を尊重しながら食を進めています。今後のO才さんの目標は自分でスプーンをもって食べることです。意欲があつて真似っこが好きな子は上手になっていきます。

バタフライさんは スプーン・フォークから お箸に移行している子どもも増えてきました。

「お家で昨日〇〇食べたよ」「とってもおいしかったよ」「お母さんお料理上手なの」等楽しいおしゃべりをしながら 楽しく食べています。何でも食べて みんな大きく元気になりますように。

豊かな感情を養い コミュニケーション力を培う

新しい真似っこチャレンジから 意欲が生まれる

(エリックソン)

すくすくルール

- ・ 食べるものを見て食べる。
- ・ 食べるものを残さない。
- ・ おいしかったらおいしいという。物を大切にします。
- ・ 人の話をさげぎって自分の話をしない。質問されたら正確に答える。